

令和元年度 認定中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告

令和2年5月
高知市（高知県）

○計画期間：平成30年4月～令和5年3月（5年）

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和元年度終了時点（令和2年3月31日時点）の中心市街地の概況

本市では、平成30年3月に計画の認定を受け、「地域資源の魅力が織り成す、『暮らし』と『交流』の調和したまち」を目指し、平成30年4月から認定基本計画に基づき、各種事業を実施している。中心市街地では、平成30年7月の県市合築の新図書館等複合施設「オーテピア」のオープンをきっかけとして、中心商店街とオーテピアを回遊する新たな人の流れが生まれ、オーテピアと隣接する商店街では新規出店が相次ぎ、賑わいが回復している。

令和元年度の取組としては、まず、ハード面では、（仮称）帯屋町一丁目地区複合施設整備事業が既存建物解体及び建築工事に着手した。同事業は映画館と商業店舗を併設するマンションを整備するもので、令和3年度竣工を目指している。ほかにも、中心市街地エリア内では民間分譲マンションの建設が進んでおり、令和元年度には新たに2棟のマンションが整備された。これらの影響もあり、令和元年度の中心市街地の居住人口は5,407人と、前年の5,106人から大きく増加した。また、都市公園のリニューアルでは、高知城に隣接する丸ノ内緑地整備事業が実施設計に着手しており、今後は居住環境が向上することにより更なる街なか居住の推進が期待される。

次に、ソフト面では、オーテピアや高知城歴史博物館（平成29年開館）など、中心市街地の新たな拠点施設が中心商店街と連携し、「高知まちゼミ」への参加、土曜夜市への出店を初めとするソフト事業を積極的に展開した。また、中心市街地の未利用地や公共空間を活用して「カーニバル00in高知」、「高知大道芸フェス2019」等の大規模イベントが官民連携して実施され、来街者の増加や回遊性の向上につながっている。

これらの様々な取組の結果、令和元年度のオーテピア入館者数は1,028,441人と当初の見込み（年間1,000,000人）を上回っており、商店街の歩行者通行量（冬季・17地点・平日休日2日の合計）も前年度の121,330人から144,672人まで19.2%も増加した。

そのほか、中心商店街の新たな動きとしては、商店街青年部が中高生ら若い世代とともにワークショップ「高知おまち学園」を実施し、中心商店街における個店の魅力発掘や将来の商店街像について検討する取組が始まっている。

以上のように、認定中心市街地活性化基本計画におけるハード・ソフト両輪の事業成果もあり、令和元年度は中心市街地の賑わいが回復し、12月調査の空き店舗率も中心部は11.6%と改善、平成19年以来12年ぶりに12%を下回る結果となったところであるが、その後、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、来街者が減少、売上額も宿泊・飲食業を中心に大幅に減少している状況が続いている。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

(基準日：1月1日)

(中心市街地区域)	平成 29 年度 (計画前年度)	平成 30 年度 (1 年目)	令和元年度 (2 年目)
人口	5,019 人	5,103 人	5,271 人
人口増減数	-79 人	84 人	168 人
自然増減数	-46 人	-61 人	-37 人
社会増減数	-24 人	150 人	214 人
転入者数	394 人	579 人	654 人
その他の増減数 (帰化・国籍喪失等)	-9 人	-5 人	-9 人

2. 令和元年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

高知市中心市街地活性化基本計画の令和元年度の取組は、行政、関係団体等と協力・連携を図りながら推進しており、基本計画掲載事業は概ね順調に進捗していると評価できる。

高知市全体の人口は減少が進むなか、中心市街地の人口は昨年度より増加しており、これは、民間分譲マンションの建設が次々と進み、街なか居住が推進されているものと言える。今後、丸ノ内緑地を初めとする都市公園のリニューアルも予定されていることから、居住環境が向上し、さらに中心市街地の居住人口の拡大が期待される。

また、オーテピアや高知城歴史博物館などの、中心市街地の新たな拠点施設がその立地を活かして、中心商店街等と連携しながら多彩な企画を実施しており、商店街も街なかの空間を有効に活用した大規模イベントを開催するなど、各団体の年間を通じた継続的な取組の効果で中心市街地に新たな賑わいが創出されたものと評価できる。

これらの取組により、基本計画の目標指標である「中心市街地の居住人口の割合」及び「歩行者通行量」は目標を達成したほか、「拠点施設入館者数」は最新値が基準値を上回っており、居住人口の減少や回遊性の偏りなどの、活性化推進に向けた課題も改善傾向にある。

このように中心市街地は順調に活性化が図られてきたが、令和元年 12 月以降の新型コロナウイルス感染拡大の影響により、来街者が減少し、売上額も宿泊・飲食業を中心に大幅な減少が続いている。現在まで取組まれてきた計画事業等の効果が無駄にせず、今後も中心市街地活性化を推進するためには、事態終息までの間の民間事業者の経営持続及び、終息後の地域経済復興に資する対策が必須であり、官民が力を合わせ、フェーズに応じた取組をスピード感をもって実施していくことが必要である。

II. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況	前回の見通し	今回の見通し
「すべての世代が永く住み続けられるまち」の実現	中心市街地の居住人口の割合	1.52%	1.65%	1.66%	A	①	①
「多くの人が回遊するまち」の実現	歩行者通行量(17地点)	119,447人	123,278人	144,672人	A	①	①
	東エリアの歩行者通行量【参考指標】	34,671人	35,585人	40,383人	A	①	①
	西エリアの歩行者通行量【参考指標】	80,045人	82,940人	98,534人	A	①	①
	周辺エリアの歩行者通行量【参考指標】	4,731人	4,753人	5,755人	A	①	①
「また訪れたいと思うまち」の実現	拠点施設入館者数(4施設)	1,159,555人	1,748,000人	1,680,926人	B	①	①

<基準値からの改善状況>

A：目標達成，B：基準値達成，C：基準値未達成

<取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり，目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが，このままでは目標達成可能とは見込まれず，今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの，目標達成可能と見込まれ，引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど，このままでは目標達成可能とは見込まれず，今後対策を講じる必要がある。

2. 目標達成見通しの理由

中心市街地の人口については，主要事業である民間分譲マンションの整備事業が予定通り事業完了したことや，計画登載以外のマンション整備も進んだことなどから，中心市街地の居住人口は増加し，令和元年度の最新値（調査日：4月1日）は5,407人，市全体の人口に対する割合は1.66%となり，目標を達成した。

歩行者通行量（17地点）についても，平成30年7月のオーテピア開館をきっかけとして，オーテピアに隣接する帯屋町二丁目及び中の橋商店街で新規出店が相次いだことや，商店街とオーテピアを回遊する人の流れが生まれたことなどにより，中心商店街に賑わいが回復した結果，令和元年度の最新値は144,672人となり，目標を達成した。

また，課題であった中心市街地内での歩行者通行量の偏在化については，令和元年度の最新値では，これまで減少傾向であった東エリアや周辺エリアにおいても増加している。

〔 東エリア：（H28）34,671人→（R1）40,383人 〕
〔 周辺エリア：（H28）4,731人→（R1）5,755人 〕

拠点施設の入館者数については、前述のオーテピア等でのソフト事業の着実な実施や、高知市文化プラザかるぽーとにおける芸術文化振興事業及びまんがイベント事業の充実等により、令和元年度の最新値は、1,680,926人と着実に増加し基準値を超えている。

3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

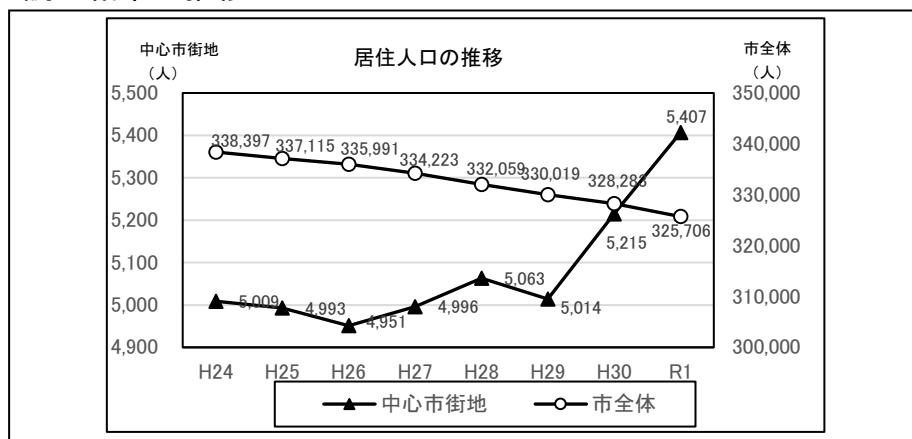
前回のフォローアップと見通しは変わっていない。

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

I 「中心市街地の居住人口の割合」

※目標設定の考え方基本計画 P68～P70 参照

●調査結果の推移



※調査方法：基本計画区域内の町丁目別及び市全体の住民基本台帳人口

※調査月：毎年4月1日

※調査主体：高知市

※調査対象：基本計画区域内及び高知市の居住者

年	(単位)
H28	1.52% (基準年値)
H29	1.52%
H30	1.59%
R1	1.66%
R2	
R3	
R4	1.65% (目標値)

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

① (仮称) 帯屋町一丁目地区複合施設整備事業 (民間事業者)

事業実施期間	平成30年度～令和3年度【実施中】
事業概要	商業店舗や映画館と共同住宅の複合施設を整備するもの
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	既存建物にあった映画館が、平成31年1月から休館。 令和元年6月、解体工事及び建設工事に着手した。 ・計画：供給戸数51戸 82人の居住人口増加見込み (1戸あたり平均1.62人と仮定)
事業の今後について	令和3年度に竣工予定。共同住宅51戸を整備する予定であり、中心市街地における街なか居住の推進に寄与することが期待される。

② 「クレアホームズ高知駅前 ザ・レジデンス」整備事業 (セントラル総合開発株式会社)

事業実施期間	平成30年度【済】
事業概要	北本町二丁目地区において民間分譲マンションを整備するもの
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	平成30年11月竣工。分譲戸数55戸のマンションが整備されたことにより、北本町二丁目地区の居住人口増加につながった。 ・計画：供給戸数55戸 89人の居住人口増加見込み ・実績：計画通り55戸整備、完売

事業の今後について	事業完了
③ ロイヤルガーデンはりまや町」整備事業（株式会社和田コーポレーション）	
事業実施期間	平成 30 年度【済】
事業概要	はりまや町一丁目地区における民間分譲マンションの整備
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	平成 30 年 12 月竣工。分譲戸数 42 戸のマンションが整備されたことにより、はりまや町一丁目地区の居住人口増加につながった。 ・計画：供給戸数 42 戸 68 人の居住人口増加見込み ・実績：計画通り 42 戸整備，完売
事業の今後について	事業完了
④ 「クリアホームズ升形 ザ・レジデンス」整備事業（セントラル総合開発株式会社）	
事業実施期間	平成 30 年度【済】
事業概要	升形地区における民間分譲マンションの整備
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	平成 31 年 2 月竣工。分譲戸数 38 戸のマンションが整備されたことにより、升形地区の居住人口増加につながった。 ・計画：供給戸数 38 戸 61 人の居住人口増加見込み ・実績：計画通り 38 戸整備，完売
事業の今後について	事業完了
⑤ 移住・定住促進事業（高知市）	
事業実施期間	平成 27 年度～令和 4 年度【実施中】
国の支援措置名及び支援期間	連携中枢都市に対する普通交付税
事業概要	街の魅力や移住・定住に関する情報発信や、三世帯同居等となる子育て世帯の転入・定住費用に対する支援など、移住・定住を促進するための各種施策を実施するもの
事業効果及び進捗状況	移住希望者を対象に、街なかをはじめとする市内を案内するガイドツアー（令和元年度実績：13 組）や、ホームページや SNS 等において、生活のしやすさ、利便性が高いことについて情報発信するとともに、三世帯同居等となる子育て世帯の転入・定住費用に対する支援（令和元年度実績：11 件）などを実施した。
事業の今後について	引き続き、移住希望者対象としたガイドツアーの実施や各種補助の実施等により、移住・定住の促進に向けた移住支援を行っていく。
●目標達成の見通し及び今後の対策	
主要事業である民間分譲マンションの整備事業が予定通り事業完了したことや、計画に登載	

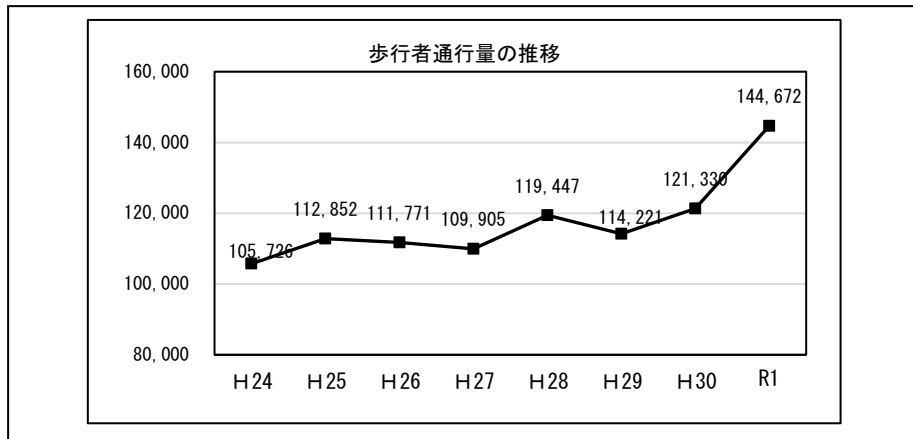
以外のマンション整備も進んだことなどから、中心市街地の居住人口は増加し、令和元年度の最新値は5,407人、市全体の人口に対する割合は1.66%となり、目標を達成した。

令和2年度も2棟のマンション建設が予定されていることや、丸ノ内緑地を初めとする都市公園のリニューアルを今後順次実施していく予定であり、さらに居住環境の向上を図り、街なか居住を推進していく。

Ⅱ 「歩行者通行量（17 地点・冬季・平日休日 2 日の合計）」

※目標設定の考え方基本計画 P71～P76 参照

●調査結果の推移



※調査方法：「商店街歩行者通行量調査」による

※調査月：毎年 12 月

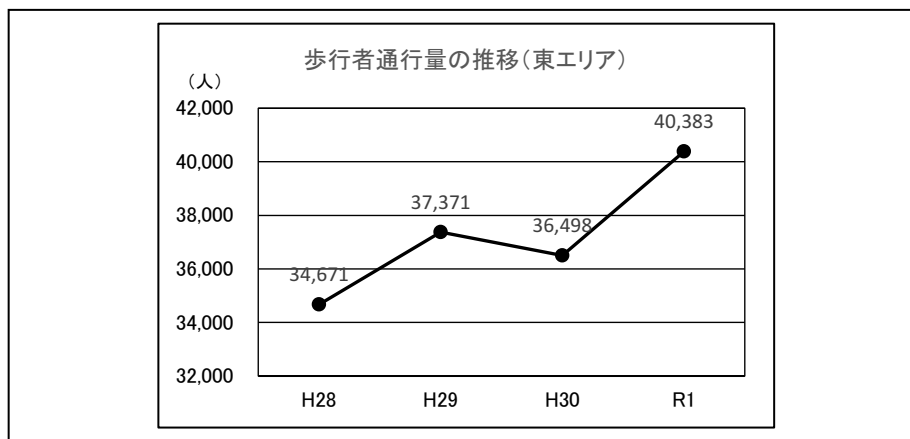
※調査主体：高知市，高知県商店街振興組合連合会

※調査対象：中心市街地内の歩行者

年	(単位)
H28	119,447 人 (基準年値)
H29	114,221 人
H30	121,330 人
R 1	144,672 人
R 2	
R 3	
R 4	123,278 人 (目標値)

<参考指標> エリア別の歩行者通行量

(参考指標①) 東エリア (6 地点) の歩行者通行量)



※調査方法：「商店街歩行者通行量調査」による

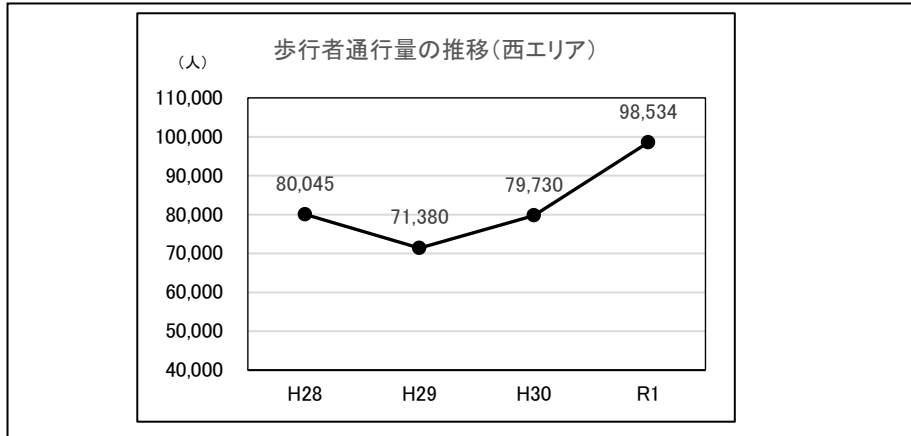
※調査月：毎年 12 月

※調査主体：高知市，高知県商店街振興組合連合会

※調査対象：中心市街地内の歩行者

年	(単位)
H28	34,671 人 (基準年値)
H29	37,371 人
H30	36,498 人
R 1	40,383 人
R 2	
R 3	
R 4	35,585 人 (目標値)

(参考指標②) 西エリア (8地点) の歩行者通行量)



※調査方法：「商店街歩行者通行量調査」による

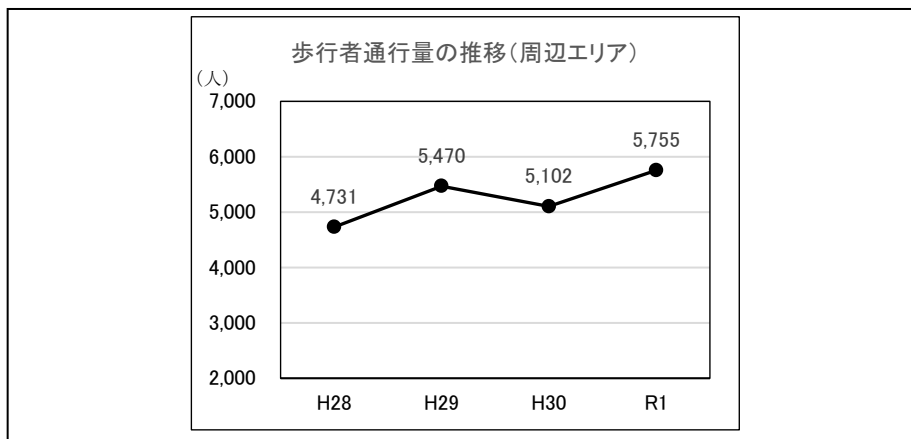
※調査月：毎年12月

※調査主体：高知市，高知県商店街振興組合連合会

※調査対象：中心市街地内の歩行者

年	(単位)
H28	80,045人 (基準年値)
H29	71,380人
H30	79,730人
R1	98,534人
R2	
R3	
R4	82,940人 (目標値)

(参考指標③) 周辺エリア (3地点) の歩行者通行量)



※調査方法：「商店街歩行者通行量調査」による

※調査月：毎年12月

※調査主体：高知市，高知県商店街振興組合連合会

※調査対象：中心市街地内の歩行者

年	(単位)
H28	4,731人 (基準年値)
H29	5,470人
H30	5,102人
R1	5,755人
R2	
R3	
R4	4,753人 (目標値)

① オーテピアにおけるソフト事業 (高知県，高知市)

事業実施期間	平成30年度～令和4年度【実施中】
事業概要	オーテピア多目的広場を活用した各種イベントや，日曜市・中心商店街と連携した取組を実施するもの
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	各種イベントの開催に多目的広場を活用するほか，「土曜夜市」や「高知まちゼミ」等，中心商店街が実施する企画・イベントに積極的に参加するなど，中心市街地内の他団体等との連携した取組を推進した。

	令和元年度の入館者数は目標値（年間 1,000,000 人）を上回る 1,028,441 人となり，中心市街地の賑わいの創出に寄与している。
事業の今後について	引き続き，「土曜夜市」や「まちゼミ」など，中心商店街が実施する企画・イベントに積極的に参画し，オーテピアから商店街の人の流れをつくっていく。

② 高知大丸リニューアル事業（株式会社 高知大丸）

事業実施期間	平成 30 年度～令和元年度【実施中】
事業概要	中心市街地に唯一立地する百貨店である高知大丸東館のリニューアルを実施するもの
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	平成 30 年度に引き続き，歩行者通行量調査等中心市街地の環境分析の実施やリニューアル構想の検討を行った。 ・計画：周辺商店街等の通行量がH28 の 34,671 人から 5%増加（+1,733 人）の見込み
事業の今後について	新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み，リニューアルの時期を見合わせる事となったが，引き続き，中心商店街や行政等と連携しながら当該百貨店の強みを生かしたりリニューアル構想を検討していく。

③ 高知城歴史博物館ソフト事業（高知県）

事業実施期間	平成 28 年度～令和 4 年度【実施中】
事業概要	高知城歴史博物館において，多彩なイベント，日曜日や中心商店街との連携事業，情報発信等を実施するもの
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	歴史関連のまちあるき用パンフレットを発行するとともに，お城下まちあるき企画を実施。また，近接した日曜日と連携した料理教室の開催や，中心商店街の「土曜夜市」に参加するなど，多彩なイベントの開催による効果等で，年間入館者数が 74,513 人となり，中心市街地の回遊性向上に貢献した。 ・計画：年間観覧者数 200,000 人 ・実績：74,513 人（R1）
事業の今後について	目標達成に向けて，日曜日と関連したイベント，まちの歴史文化スポットに関する情報提供などを継続して実施していく。

④ （仮称）帯屋町一丁目地区複合施設整備事業（民間事業者）【再掲】

事業実施期間	平成 30 年度～令和 3 年度【実施中】
事業概要	商業店舗や映画館と共同住宅の複合施設を整備するもの

国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	既存建物にあった映画館が、平成31年1月から休館。 令和元年6月、解体工事及び建設工事に着手した。 ・計画：供給戸数51戸、1戸あたり居住者1.62人で82人の居住者人口増加を見込み、居住者の半数が回遊と仮定 $82人 \div 2 \times 2$ (往復) $\times 2$ 日 (平日・休日) = 164人増加見込み
事業の今後について	令和3年度に竣工予定。共同住宅51戸を整備する予定であり、中心市街地における街なか居住の推進に寄与することが期待される。

⑤ 街なか空間有効活用事業（高知市，商店街振興組合，民間事業者）

事業実施期間	平成30年度～令和4年度【実施中】
事業概要	中心市街地に点在する未利用地や空き店舗、公共空間等においてイベントを開催する等有効利用を図るもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	商店街や民間事業者、高知県及び高知市が連携して商店街の空きスペースや未利用地等を活用した大規模イベントを実施。 〔高知大道芸フェス2019：9月29日・30日〕 〔カーニバル00in高知：11月2日～4日〕 県内外からの多くの観光客が訪れ、中心商店街の賑わいの創出につながった。 ・計画：H29の誘客数1,200人を10%増加させ、3か所程度回遊と仮定 $1,200人 \times 10\% \times 3 = 360$ 人増加見込み
事業の今後について	コロナウイルス感染小拡大によりイベントの延期・中止が続いているため、令和2年度の大規模イベントの実施は未定。

⑥ レンタサイクル事業（高知市）

事業実施期間	平成30年度～令和4年度【実施中】
事業概要	中心市街地を快適に回遊できるレンタサイクルの導入及び実施
国の支援措置名及び支援期間	都市再生整備計画道路占用許可の特例、都市公園の占用許可の特例（活用予定）
事業効果及び進捗状況	レンタサイクル利用者が便利に乗り降りできるよう、サイクルポートを中心市街地内随所に整備することで、来街者の回遊性の向上が期待できる。 平成30年度に引き続き、先進市を視察し、事業効果及び課題の検討を行った。 ・計画： 平日75人、休日は平日の2.1倍の158人の利用を目指し、利用

	者の25%の人が3か所回遊と仮定。 233人×25%×3=175人増加見込み
事業の今後について	他市では民間事業者によるシェアサイクルサービスが提供されている地域もあり、今後は事業実施可能な事業者と検討・調整していく。
⑦ 学生活動交流館事業、学生と商店街の連携事業（高知市、商店街振興組合、学生）	
事業実施期間	学生活動交流館事業：平成25年度～令和4年度【実施中】 学生と商店街の連携事業：平成30年度～令和4年度【実施中】
事業概要	京町商店街にある高知市学生活動交流館の運営及び当該施設における学生グループの活動支援を行うとともに、その他商店街と連携した学生主催のイベントを企画、実施する。
国の支援措置名及び支援期間	学生活動交流館事業：中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（平成25年度～令和4年度） 学生と商店街の連携事業：国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	高知市学生活動交流館は、中心商店街の活性化につながる学生グループの自主活動の拠点としての利用をはじめ、市民グループの絵画展や写真展等に活用されており、来街の促進や交流人口の拡大に寄与している。また、高知大学の学生グループ主催の「スポ GOMI」や高知商業高校主催の「はりまやストリートフェスティバル」等のイベントも商店街の協力を得て開催されており、回遊性の向上につながっている。また、令和元年度の新たな取組として、商店街青年部と中高生が商店街の将来像について研究するワークショップ「高知おまち学園」を実施した。 ・計画：160人増加見込み
事業の今後について	高知市学生活動交流館において、学生グループ等が実施する作品展示、実習等の活動への貸出しを行う。また、利用率の向上にむけて、施設のPRを行う。 そのほか、「高知おまち学園」での成果を発表する「pop-up 商店街」を臨時出店する予定。
⑧ 「ロイヤルガーデンはりまや町」整備事業（株式会社和田コーポレーション）【再掲】	
事業実施期間	平成30年度【済】
事業概要	はりまや町一丁目地区における民間分譲マンションの整備
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	平成30年12月竣工。分譲戸数42戸のマンションが整備されたことにより、はりまや町一丁目地区の居住人口増加につながった。 ・計画：供給戸数42戸 68人の居住人口増加見込み ・実績：計画通り42戸整備、完売
事業の今後について	事業完了

⑨ 「クレアホームズ升形 ザ・レジデンス」整備事業（セントラル総合開発株式会社）【再掲】

事業実施期間	平成 30 年度【済】
事業概要	升形地区における民間分譲マンションの整備
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	平成 31 年 2 月竣工。分譲戸数 38 戸のマンションが整備されたことにより、升形地区の居住人口増加につながった。 <ul style="list-style-type: none"> ・計画：供給戸数 38 戸 61 人の居住人口増加見込み ・実績：計画通り 38 戸整備，完売
事業の今後について	事業完了

⑩ まんがイベント事業，芸術文化振興事業（高知県，高知市，民間事業者）

事業実施期間	まんがイベント事業：平成 15 年度～令和 4 年度【実施中】 芸術文化振興事業：平成 30 年度～令和 4 年度【実施中】
事業概要	まんがに関するイベントの開催や地元商店街と連携したイベント等を実施する。また，県民文化ホール，かるぽーと等での芸術・文化イベントの実施により来街促進を図る。
国の支援措置名及び支援期間	まんがイベント事業：中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（平成 27 年度～令和 4 年度），文化芸術振興費補助金（文部科学省）（平成 30 年度） 芸術文化振興事業：国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	「まんが甲子園」，「まんさい」，「全国漫画家大会議 in まんが王国・土佐」等，1 年を通じてまんがに関するイベントを積極的に実施した。 計画：利用者増加見込数 16,302 人 ÷ 想定営業日数 312 = 52 人 半数が商店街に移動し，2 か所回遊と仮定 $52 \text{ 人} \div 2 \times 2 \text{ か所} \times 2 \text{ 日} = 104 \text{ 人}$ 増加見込み 実績：R 元年度の利用者は 524,630 人であり，回遊性の向上に相当程度寄与している。
事業の今後について	「まんが甲子園」，「まんさい」，「全国漫画家大会議 in まんが王国・土佐」を継続して実施するとともに，旧県立図書館に新たな情報発信拠点「高知まんが BASE」が令和 2 年 4 月にオープン。来街の促進や交流人口の拡大を図っていく。

⑪ 高知よさこい情報交流館運営事業（高知市）

事業実施期間	平成 25 年度～令和 4 年度【実施中】
事業概要	高知よさこい情報交流館の運営を行い，よさこいをテーマとした展示やよさこい祭り開催時以外でもよさこいを体感できるイベントを実施するもの
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（平成 25 年度～令和 4 年度）

事業効果及び進捗状況	<p>よさこい情報交流館での展示・企画を充実させるとともに、8月～12月の期間は毎週日曜に、当該施設が隣接するはりまや商店街でのよさこい鳴子踊り披露等を実施した。</p> <p>計画：入館者増加見込数 2,942 人 ÷ 想定開館日数 312 = 9 人 半数が商店街に移動し、2 か所回遊と仮定 9 人 ÷ 2 × 2 か所 × 2 日 = 18 人増加見込み</p> <p>実績：令和元年度の入館者数は 53,342 人であり、回遊性の向上に相当程度寄与している。</p>
事業の今後について	<p>よさこい情報交流館あり方検討を踏まえた、よさこい情報交流館の運営（インバウンド観光推進、全国よさこい情報の充実化、商店街との連携強化等）や、よさこい企画展の開催などに引き続き取り組むことで、来街の促進や回遊性の向上を図っていく。</p>

●目標達成の見通し及び今後の対策

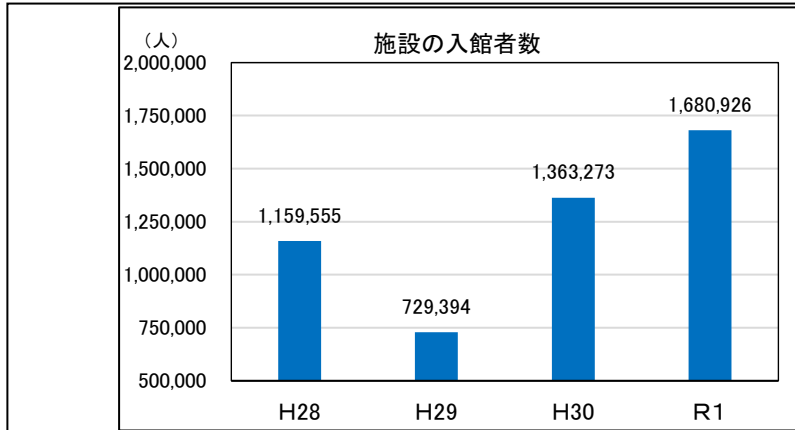
平成 30 年 7 月のオーテピア開館をきっかけとして、オーテピアに隣接する帯屋町二丁目及び中の橋商店街で新規出店が相次いだことや、商店街とオーテピアを回遊する人の流れが生まれたことなどにより、中心商店街に賑わいが回復している。令和元年度の歩行者通行量（冬季・17 地点・平日休日 2 日の合計）は 144,672 人と、前年度から 19.2%増加し、目標値（123,278 人）を達成した。

また、課題である中心市街地内での歩行者通行量の偏在化についても、これまで減少傾向であった東エリアや周辺エリアにおいても、歩行者通行量が増加しており、これは、中心市街地全体としてイベント事業に取り組んでいる効果であると考えられる。

しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、2 月後半以降は来街者が大幅に減少しており、事業者の経営持続と終息後の商店街の賑わい回復を図る対策が必要である。

Ⅲ 「拠点施設入館者数」 ※目標設定の考え方基本計画 P84～P87 参照

●調査結果の推移



年	(単位)
H28	1,159,555 人 (基準年値)
H29	729,394 人
H30	1,363,273 人
R1	1,680,926 人
R2	
R3	
R4	1,748,000 人 (目標値)

※調査方法：拠点施設（4施設）ごとに日常的に計測し、年間入館者数を集計

※調査月：毎年4月

※調査主体：高知県、高知市

※調査対象：オーテピア、高知城歴史博物館、かるぽーと、高知よさこい情報交流館の4施設（H29年度はオーテピアが開館前のため、3施設の入館者数の合計値）

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①オーテピアにおけるソフト事業（高知県、高知市）【再掲】

事業実施期間	平成30年度～令和4年度【実施中】
事業概要	オーテピア多目的広場を活用した各種イベントや、日曜市・中心商店街と連携した取組を実施するもの
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	各種イベントの開催に多目的広場を活用するほか、「土曜夜市」や「高知まちゼミ」等、中心商店街が実施する企画・イベントに積極的に参加するなど、中心市街地内の他団体等との連携した取組を推進した。令和元年度の入館者数は目標値（年間1,000,000人）を上回る1,028,441人となり、中心市街地の賑わいの創出に寄与している。
事業の今後について	引き続き、「土曜夜市」や「まちゼミ」など、中心商店街が実施する企画・イベントに積極的に参画し、オーテピアから商店街の人の流れをつくっていく。

②高知城歴史博物館ソフト事業（高知県）【再掲】

事業実施期間	平成28年度～令和4年度【実施中】
事業概要	高知城歴史博物館において、多彩なイベント、日曜市や中心商店街との連携事業、情報発信等を実施するもの
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	歴史関連のまちあるき用パンフレットを発行するとともに、お城下ま

況	ちあるき企画を実施。また、近接した日曜市と連携した料理教室の開催や、中心商店街の「土曜夜市」に参加するなど、多彩なイベントの開催による効果等で、年間入館者数が74,509人となり、中心市街地の回遊性向上に貢献した。 <ul style="list-style-type: none"> ・計画：年間観覧者数 200,000人 ・実績：74,513人（R1）
事業の今後について	目標達成に向けて、日曜市と関連したイベント、まちの歴史文化スポットに関する情報提供などを継続して実施していく。

③ まんがイベント事業、芸術文化振興事業（高知県、高知市、民間事業者）【再掲】

事業実施期間	平成15年度～令和4年度【実施中】
事業概要	まんがに関するイベントの開催や地元商店街と連携したイベント等を実施する。また、県民文化ホール、かるぽーと等での芸術・文化イベントの実施により来街促進を図る。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（平成27年度～令和4年度）
事業効果及び進捗状況	「まんが甲子園」、「まんさい」、「全国漫画家大会議 in まんが王国・土佐」等、1年を通じてまんがに関するイベントを積極的に実施した。 計画：利用者増加見込数 16,302人 ÷ 想定営業日数 312 = 52人 半数が商店街に移動し、2か所回遊と仮定 $52人 \div 2 \times 2 \text{か所} \times 2 \text{日} = 104 \text{人増加見込み}$ 実績：R元年度の利用者は524,630人であり、回遊性の向上に相当程度寄与している。
事業の今後について	「まんが甲子園」、「まんさい」、「全国漫画家大会議 in まんが王国・土佐」を継続して実施するとともに、旧県立図書館に新たな情報発信拠点「高知まんがBASE」が令和2年4月にオープン。来街の促進や交流人口の拡大を図っていく。

④ 高知よさこい情報交流館運営事業（高知市）【再掲】

事業実施期間	平成25年度～令和4年度【実施中】
事業概要	高知よさこい情報交流館の運営を行い、よさこいをテーマとした展示やよさこい祭り開催時以外でもよさこいを体感できるイベントを実施するもの
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（平成25年度～令和4年度）
事業効果及び進捗状況	よさこい情報交流館での展示・企画を充実させるとともに、8月～12月の期間は毎週日曜に、当該施設が隣接するはりまや商店街でのよさこい鳴子踊り披露等を実施した。 計画：入館者増加見込数 2,942人 ÷ 想定開館日数 312 = 9人

	<p>半数が商店街に移動し、2か所回遊と仮定 $9人 \div 2 \times 2 \text{か所} \times 2日 = 18人$増加見込み 実績：令和元年度の入館者数は53,342人であり、回遊性の向上に相当程度寄与している。</p>
事業の今後について	<p>よさこい情報交流館あり方検討を踏まえた、よさこい情報交流館の運営（インバウンド観光推進、全国よさこい情報の充実化、商店街との連携強化等）や、よさこい企画展の開催などに引き続き取り組むことで、来街の促進や回遊性の向上を図っていく。</p>

●目標達成の見通し及び今後の対策

拠点施設の入館者数については、オーテピアや高知城歴史博物館でのソフト事業の着実な実施や、高知市文化プラザかるぽーとにおける芸術文化振興事業及びまんがイベント事業の充実等により、令和元年度の最新値は、1,680,926人と着実に増加している。

また、各拠点施設では11月には「お城下文化の日」として、中心市街地内にある文化施設が連携したイベントの開催や、中心商店街と連携した事業の展開等、新たな賑わいの創出や回遊性の向上に寄与する取組を実施している。

さらに、高知よさこい情報交流館については、平成31年4月から新たな事業計画に基づく運営を行っており、中心市街地の現状を踏まえた、インバウンド観光の推進や中心商店街との連携強化についても取り組んでいる。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、県内外からの観光客数も減少しており、今後はコロナ終息後の賑わい回復に向けた取組が必要である。